

HCC TIMES



Vol.237
2023 3



豊泉家グループ 一般財団法人 SF 豊泉家
〒561-0881 大阪府豊中市中桜塚 3-2-1
TEL:0120-294-998
<https://www.housenka.com/>
編集: 広報戦略室 / 編集長 石倉慎也
2023.3.1 発行

豊泉家アウトドアフィールド 六甲山スノープログラム

1月31日(火)に第2回豊泉家アウトドアフィールド「HCCチャレンジ六甲山スノープログラム」を六甲山スノーパークにて開催いたしました。豊泉家アウトドアフィールドは、新型コロナウイルスの影響により外出の機会や他者との交流が非常に少なくなっているチャレンジの皆様、大自然の中で思い切り体を動かし、新しいことにチャレンジしていただきたいという想いでスタートいたしました。第2回目のメインイベントはプロスキーヤー・登山家の三浦豪太氏と一緒に体験する「デュアルスキー」です。

「デュアルスキー」とは一言で言うと「座ったままでも滑ることができるスキー」です。滑るものが付いたイスの下に2本のスキーが「パイロット」となり、操作しながら滑るといいます。サスペンションも付いており、限りなくスキーに近い感覚を感じられます。一緒にリフトに乗ることも可能ですので、介助者と一緒に滑りたくない方も安心です。



皆様の安全を第一に考慮したうえで決行いたしました。また、株式会社ミウラドブルーの皆様より、デュアルスキー2台と安全対策のため、サポーターとアウトドア専用車椅子「ビッポ」2台をご用意いただきました。当日は、初参加の方を含め、HCCチャレンジクラブ10名の皆様にご参加いただきました。はじめてのデュアルスキーに、少し不安な表情をされていた皆様でしたが、三浦豪太氏の「ここにきての皆の勇気はすごい!楽しんでいこう!」の言葉に、見守るフェロニに笑顔で手を振って滑りました。滑り終えた時には、満面の笑顔で「楽しかった!」「早く次も滑りたい!」と、全力で愉しまれている様子が伝わってきました。また、自分の番を待ちながら不安な表情をされている他のご利用者も「大丈夫だよ」「楽しんでいよ」とご利用者同士で声を掛け合い、励まし合っている場面も見られました。



デュアルスキー以外では、ソリ滑りや雪投げをご体験いただきました。ソリ滑りでは豊泉家専用レーンを確認し、思い思いの速さで滑っていました。雪投げは、的に向かって投げても投げても、なかなか当たらない方が、諦めず何度も何度もチャレンジして、やっと当たった際には思わず皆でハイタッチをしました。

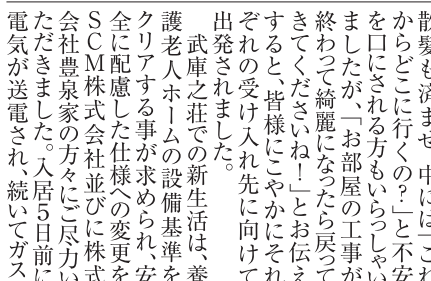


ご参加いただいた皆様、勇気を出して新しいことにチャレンジする姿や不安な表情がやがて笑顔に変わっていく様子を見て、私たちも勇気をいただきました。何かを諦めそうになった時や、迷っていた時この日の一歩踏み出した勇気の思い出していただけたら嬉しいです。今後も皆様と一緒に新しいアウトドアにチャレンジしていきたいと思っております。記者: 広報戦略室 東谷 祐子

天森養護老人ホーム 大規模改修工事始まる!

1月26日着工! 10月竣工予定

天森養護老人ホームの前身城南天森養護老人ホームは昭和27年5月28日事業を開始しました。初代理事長河野琢道(天龍院第26世)は戦後の混乱期に困窮する老人を救済するために当施設を設立しました。当時定員50名、昭和38年老人福祉法制定により天森養護老人ホームとなり、現在定員107名になりました。



私の古い記憶を辿ると、年1回観光バスで行く泊旅行で、修学旅行の様な集合写真や、大広間で浴衣姿のご入居者の愉しそうな食事風景。また、お正月にはそれぞれのフロアで練炭火鉢に火をおこし、配布されたお餅を焼いて召し上がっていました。今では考えられない光景ですが、ささやかな愉しみの一つでした。その当時は自立したご入居者のコミュニティがあったのです。21世紀になり、ご入居される方も様変わりし、限りなく特養に近い施設へと変わってきました。



今回の大規模改修工事では、全居室ベッド対応、車いす対応のトイレ、エレベーターの入れ替え、厨房と食堂を同じフロアへ移動するなど、ご入居者の安心安全を守り、フロアにとっても働きやすい環境になることを期待しています。社会福祉法人 天森誠和会 理事長 河野 加津美

長年の宿願であった大規模改修工事が決定され、着工のためご入居者の仮の住まい、館内備品の要否か否かの選別、書類の整理、廃棄と管理場所の確保など進められておりましたが、想像よりはるかに膨大で、ご入居者にも荷物や衣類の整理をしていただき、毎日粗大ゴミの山ができました。ご入居者の仮の住まいについては介護度の高い方々をナーシングホーム豊泉家芦屋山手、特別養護老人ホーム豊泉家北緑丘にてシフト利用で入居者へいただき、残るご入居者は武庫之荘で生活を送る事となりました。シフト利用の方は衣類や肌着を買い揃え、前日までに散髪も済ませ、中には「これからどこに行くの?」と不安な口にする方もいらっしゃいましたが、「お部屋の工事が終わって綺麗になったら戻ってきてください!」とお伝えすると、皆様こやかにそれらの受け入れ先に向けて出発されました。

水道の開栓、電話、ネット回線工事と急ピッチで進めていただき、厨房器具の搬送、設置は豊食株式会社の皆様が遅くまで頑張ってくださいました。90名近いご入居者が安心して生活できる環境を豊泉家グループ一丸となって整え、無事に引越しを完了することができました。皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。感謝申し上げます。記者: 上町台コミュニティ長 和田 淳

リニューアル工事完了までの間の入居先として、1月11日(水)~1月25日(水)の間で、特別養護老人ホーム豊泉家北緑丘に6名、ナーシングホーム豊泉家芦屋山手に20名、武庫之荘に58名移動していただきました。これから約10ヶ月の間、慣れない環境の中、ご入居者が活気ある生活を送っていただけるようフェロニ全員が努めてまいります。記者: キャプテン 谷口 裕子

北緑丘コミュニティ到着 芦屋コミュニティ到着

HCC北緑丘

デイサービス落語の会

1月16日(月)デイサービスセンター豊泉家北緑丘にて、落語の会を開催いたしました。...



記者・高崎 孝宜

HCC桃山台

ゴールデンルームコンサート

アンステッドリビングホーム豊泉家桃山台では、毎月定期的に午前中の時間にボランティア講師をお招きして...

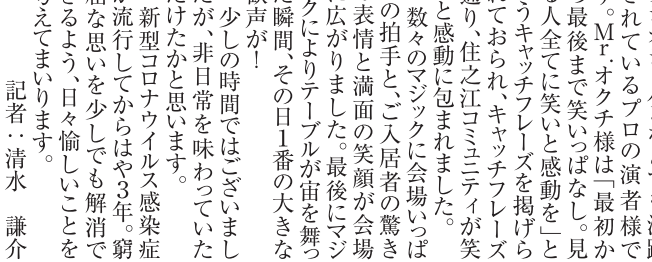


記者・浅井 隆太

HCC住之江

住之江マジックショー

1月29日(日)住之江コミュニティにて、特別エンタメ「住之江マジックショー」を開催いたしました。

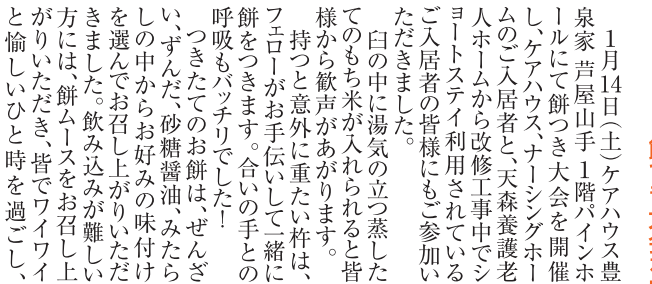


記者・清水 謙介

HCC芦屋山手

餅つき大会を開催しました!

1月14日(土)ケアハウス豊泉家芦屋山手1階バインホールにて餅つき大会を開催しました。



記者・原 慶彦

HCCスカイクラブ

ファミリーコンサート

1月19日(木)ほうせんか病院4階緩和ケア棟スカイコートにて、患者様のご家族によるファミリーコンサートを開催いたしました。

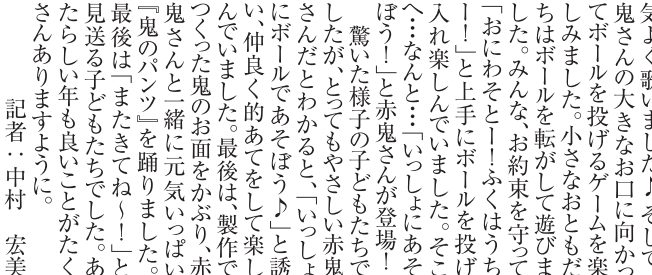


記者・山本 咲千代

HCCキッズクラブ

節分の集い

2月3日(金)ほうせんかキッズクラブで節分の集いを行いました。鬼のパンツを履いて、準備万端!



記者・中村 宏美

永年勤続表彰の対象者を紹介いたします。

2023年度の対象者は、勤続10年の方が33名、20年の方が12名の45名となりました。1月9日(月祝)に開催された「新春豊泉家大家族会」では、45名の受賞者を代表して西脇麻衣コミュニケーション長より、これまでの感謝の気持ちと、今後も豊泉家の発展に尽くしてまいりたいという熱い想いを発表いただきました。45名の皆様、おめでとうございます。



◇永年勤続20年 12名		社会福祉法人福祥福祉会	
豊泉家グループ	竹谷 洋助	ALH給食	中山 周二
一般財団法人SF豊泉家	海老 典子	住之江給食	高野 美鈴
	財務管理部	芦屋CF	西脇 麻衣
	総務管理部	レッドインクル	谷口 裕子
社会福祉法人福祥福祉会	北緑丘CF	理美容	松岡 絹子
	KCC	サロン桃山台	高田 規子
	桃山台CF		
	南野 清孝		

◇永年勤続10年 33名		社会福祉法人福祥福祉会	
一般財団法人SF豊泉家	人財創造部	八幡 省三	CCT
	財務管理部	井上 憲子	CCT
	総務管理部	来田 美奈	住之江CF
社会福祉法人福祥福祉会	運営本部	福井 良幸	ブルーWAVE
	グリーン☆スレッド	金澤 尚子	ブルーWAVE
	グリーン☆スレッド	川野 美恵子	SCC
	グリーンピース	松尾 ちひろ	CCN
	KCC	藪内 敦信	住之江給食
	KCC	和田 知浩	上町台給食
	桃山台CF	磯部 綾	高齢者医療介護時センター
	ピーチライフ	原 久美子	医療法人成和会
	ピーチフォレスト	河野 由香	株式会社豊泉家
	MCC	佐藤 瑞保	IT事業部
	桃山台料飲部フロント	川本 典子	治療院住之江
	ALH給食	山口 悦子	運営本部
	桃山台給食	大橋 萬里子	法人本部
	マルコポーロ	三木 聡子	運営本部
			HCC桃山台

おしえてゆたかくん!

豊泉家で特別な想いを持って使用している言葉【豊泉家ワード】をゆたかくんが解説いたします!

- フェロー→豊泉家では、職員・社員・従業員と言わず、同志という想いを込め、フェローと呼んでいます。
- 個室→豊泉家のサービスをご利用の皆様。豊泉家ではパーソナルを重んじ、お客様のことを「個室」と呼称しています。
- チャレンジド→神様より挑戦する使命を与えられた人々たちという意味です。豊泉家ではハンディキャップをお持ちの方を「チャレンジド」と呼称しています。
- 家縁→人と人とのつながりを表す「縁」という言葉。豊泉家で働く皆さんのフェロー、豊泉家を利用してくださる個室の皆様、ともに支えていきたいという願いを込め、豊泉家でつながる縁を「家縁(かえん)」と呼んでいます。
- ステークホルダー→一般的には利害関係者の総称ですが、豊泉家では家縁でつながった外部企業および個人を意味しています。

2022年12月度 フェロー大賞 月間賞

豊泉家フェロー大賞

AC(介護)ドメイン

第2期の技能実習生として入職し3年の技能実習生の期間を経て特定技能実習生として継続して勤務しています。現在は夜勤を含めた運出リゲルとして活躍しており、今後は日勤リゲルにも挑戦する予定です。また、常に笑顔で入居者からの信頼も厚く、ミタニから来た後輩フェローの育成指導及び不安解消にも努めていきます。実務以外の部分でもチームに貢献し、今後の成長も高く評価されました。

社会福祉法人福祥福祉会
ピーチフォレスト
モン モントー フェロー

NEXT DOOR 豊泉家未来を語るつ会

1月26日(木)ほうせんか病院4階ロースホールにて第42回NEXT DOOR「豊泉家未来を語るつ会」(以下語るつ会)を開催いたしました。語るつ会を開催したテーマは「話し合おう!」と異なったテーマで議論を行い、相互理解についての議論や、患者様ご利用者のことを想った提案を発表いただきました。

ディスカッションを通して医療法人成和会樋口昌克副理事長から「フェローの満足度には患者様、個室の満足度も重要です。そして、自分のやりたい仕事、責任ある仕事があることも重要です。つまり、不満を改善していくとともにモチベーションも高めていかなければなりません。これからはすべて一緒に良い病院を創り上げていきたいと思います」とフェローの満足度は2023年のグループのモットーである「フェロー第一経営革新」に繋がることだとお話しいただきました。

語るつ会「これからのM

NEXT DOOR 豊泉家未来を創るつ会

1月19日(木)北緑丘コミュニティ6階グリーンルームにて第240回NEXT DOOR「豊泉家未来を創るつ会」(以下創るつ会)を開催いたしました。創るつ会はトピアダウ・ポトムアップの場として、グループ経営陣と現場のフェローが同じテーマについて話し合い、ディスカッションや自身の意見を伝えるクロスストークを通じてグループ一丸となり豊泉家のため良い未来を創っていきます。

今回のディスカッションでは「互いを理解する」テーマに、相互理解を阻害する事柄と、それを克服し相互理解を進めるために必要なことについて話し合っていました。

ディスカッションを受けて、社会福祉法人福祥福祉会阿久根賢一理事長より相互理解を深める3つの要素についてお話しいただきました。

1つ目の要素は理念、目的を明確にすること。2つ目は利他の心を持つこと。3つ目は

記者・人財創造部 山崎 和舞

1月26日(木)ほうせんか病院4階ロースホールにて第42回NEXT DOOR「豊泉家未来を語るつ会」(以下語るつ会)を開催いたしました。語るつ会を開催したテーマは「話し合おう!」と異なったテーマで議論を行い、相互理解についての議論や、患者様ご利用者のことを想った提案を発表いただきました。

ディスカッションを通して医療法人成和会樋口昌克副理事長から「フェローの満足度には患者様、個室の満足度も重要です。そして、自分のやりたい仕事、責任ある仕事があることも重要です。つまり、不満を改善していくとともにモチベーションも高めていかなければなりません。これからはすべて一緒に良い病院を創り上げていきたいと思います」とフェローの満足度は2023年のグループのモットーである「フェロー第一経営革新」に繋がることだとお話しいただきました。

語るつ会「これからのM

記者・人財創造部 山崎 和舞

1月26日(木)ほうせんか病院4階ロースホールにて第42回NEXT DOOR「豊泉家未来を語るつ会」(以下語るつ会)を開催いたしました。語るつ会を開催したテーマは「話し合おう!」と異なったテーマで議論を行い、相互理解についての議論や、患者様ご利用者のことを想った提案を発表いただきました。

ディスカッションを通して医療法人成和会樋口昌克副理事長から「フェローの満足度には患者様、個室の満足度も重要です。そして、自分のやりたい仕事、責任ある仕事があることも重要です。つまり、不満を改善していくとともにモチベーションも高めていかなければなりません。これからはすべて一緒に良い病院を創り上げていきたいと思います」とフェローの満足度は2023年のグループのモットーである「フェロー第一経営革新」に繋がることだとお話しいただきました。

語るつ会「これからのM

記者・人財創造部 山崎 和舞

1月26日(木)ほうせんか病院4階ロースホールにて第42回NEXT DOOR「豊泉家未来を語るつ会」(以下語るつ会)を開催いたしました。語るつ会を開催したテーマは「話し合おう!」と異なったテーマで議論を行い、相互理解についての議論や、患者様ご利用者のことを想った提案を発表いただきました。

ディスカッションを通して医療法人成和会樋口昌克副理事長から「フェローの満足度には患者様、個室の満足度も重要です。そして、自分のやりたい仕事、責任ある仕事があることも重要です。つまり、不満を改善していくとともにモチベーションも高めていかなければなりません。これからはすべて一緒に良い病院を創り上げていきたいと思います」とフェローの満足度は2023年のグループのモットーである「フェロー第一経営革新」に繋がることだとお話しいただきました。

語るつ会「これからのM

モラロジー研修会

1月12日(木)アシステッドリビングホーム豊泉家桃山台4階ゴールデンルームにて、モラロジー研修を開催いたしました。

モラロジーとは「モラル(道徳)」「ロジ(学)」をかけた言葉で、モラルを行動に移すための、心のあり方や考え方を学び、接遇の基本となる「感謝」「思いやり」「自立心」を育む機会として、2ヶ月に1度開催しています。

今回は豊中モラロジー事務所より、松田興一講師にお越しいただき、「ニューモラル1月号」「和」を大切にする生き方の輪読を行い、日々の人との関わり方についてお話しいただきました。

ダイバーシティ「多様性」が1つのキーワードとなる時代で、相手の考えに寄り添い、「和」の大切さについて考える貴重な機会となりました。

普段は忙しく、なかなか考えることができないことを、一度立ち止まり、人と集まって自分の気持ちを話してみませんか。きとストレス解消になったり、何か新たな発見があると思います。「小さなことでよくよしてしまおう」「人との接し方で悩んでいる」「自分に自信が無い」など日常にもやもやを抱えている方は是非一度、モラロジー研修への参加をお待ちしています。

記者・人財創造部 山崎 和舞

おススメ! Twitterアカウント 「ゆたかくん」といすみちゃんの家

「ゆたかくん どうしたの?」

「今日、学生さんに会ったんだけど、就活が大変そうだったよ! 何かお手伝いできないかな?」

「そんな学生さん達に役立つようにするために『ゆたかくん』といすみちゃんの家」を教えてください!

「最新の時事ネタや、就活に役立つ情報が盛り沢山だもんね!」

ツイッターは、@houseska_home

